

下小口地域資源保全会が 農村環境保全活動部門で表彰

令和5年11月26日（日）、安城市民会館サルビアホールで「農地・水・環境のつどい」が開催され、農村環境保全活動部門において下小口地域資源保全会が、地域の子どもや保護者の農業に対する理解を深める活動を長年に渡り継続的におこなってきたことが評価され、「愛知県土地改良事業団体連合会長賞」を受賞されました。



下小口地域資源保全会は、地域による農用地、水路、農道等の保全管理と質的向上を図る「多面的機能支払交付金事業」において、10年もの間、大口北小学校との農業体験や親子でのサツマイモ掘りなど、地域の子どもたちや保護者へ農業にふれあう場を提供してきました。

大口町まちづくり協働フォーラム

～協働から総働へ～
わがごとまるごとみんなで地域づくり

小規模多機能自治がなぜ必要なのか、自治組織がどんな取組みをしているのかを聞き、自分にできることは何かを一緒に考えませんか？

日時 2月4日（日）

午後1時30分から4時

場所 ほほえみプラザ4階 ほほえみホール

内容 「小規模多機能自治の必要性と役割」
「地域の取組み～現在、そしてこれから～」
ワーク「わたし発！アイデアスケッチ」

講師・進行 ぎふNPOセンター 副理事長
北村隆幸さん

対象 地域活動に興味のある方

申込みおよび問合せ先

NPO 法人まちなえっと大口（☎ 22-6642）へ
お申し込みください。

ヤマザキマザック工作機械博物館 館内見学＆モノづくり体験

12月9日（土）岐阜県美濃加茂市にあるヤマザキマザック工作機械博物館で館内見学をしました。

ヤマザキマザックは工作機械を通じて、世界中のモノづくりを支え続けていると説明を受けました。また、工作機械は「マザーマシン」といわれ、モノづくりに欠かせない機械であり、「丸く削る」「平たく削る」「穴をあける」「ね

じを切る」の4つの加工を組み合わせ、さまざまな機械の部品をつくることのできることも学びました。

その後、モノづくり体験コーナーでバイクオブジェを作り、館内の展示物を見学。ガイドから工作機械について問われると、4つの特徴を元気よく答える子どもたち。興味津々の様子で館内を見学しました。

